

番号：2-2

所管課：健康部 健康増進課

【取組の位置づけ】

基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	② 地域団体等との協働事業の推進
取組項目	地域コミュニティの主体的な健康づくり活動の活性化を図るため、健康のまちづくり事業への参加校区の拡大とプランづくりを支援
効果目標等	健康づくり活動新規参加校区 5校区

【取組の概要】

取組の目的	生活習慣病予防をはじめとする健康づくりを住民が地域ぐるみで継続的、主体的に取り組むことで、地域全体が健康になることを目指す。					
状況 (目標の設定に至った経緯とH23年度までの取り組み状況)	平成17年度から19年度にモデル的に牛川・花田校区で健康のまちづくり事業を実施し、平成21年度から全市的に広めるように取組みを開始。平成23年度までに11校区が健康のまちづくり事業を実施。					
平成24年度	取組内容 (H24年度計画)	目標	<ul style="list-style-type: none"> 健康のまちづくり事業に新規に取り組む校区の拡大。 2年間の活動支援を通じ地域が自主的に継続して実施。 			
		手法	<ul style="list-style-type: none"> 1年目の校区には、自治会に働きかけ、健康のまちづくり事業を説明し、取組み内容の検討を行い実施。 2年目の校区には、地域と行政が協働で活動を行い、自主的な取組みに向けて支援する。 			
	活動実績 (どのような活動を行い、結果どうなったか)	活動	<ul style="list-style-type: none"> 1年目の校区では、ヘルスボランティア養成講座を開催し、健康づくりサポーターを立ち上げ、ウォーキングやハイキングを実施。 2年目の校区では、ウォーキングマップの作成、ウォーキングイベント等の実施。 継続校区では、地域が主体的に活動を計画し、要請に応じて支援。 スキルアップ研修では、事業実施校区が集まり、情報提供や課題を共有し継続に向けて意見交換を実施。 			
		結果	1年目の二川校区では68人が参加。2年目の3校区では、902人参加。継続の4校区においては378人参加。スキルアップ研修では、9校区と3団体で36人参加。			
事業実績 (成果を表す指標、実績の推移)	指標1	新規参加校区	指標2	イベント等参加延人数		
	実績	H22	3校区	実績	H22	940人
		H23	3校区		H23	1,966人
H24		1校区	H24		1,348人	
内部評価 (達成度評価)	D	[理由] 目標は5校区としたが、申込は3校区であったが、実際に活動できたのは1校区に留まったため、D評価とした。				
(評価基準) A: 計画を越える達成 B: 計画達成 C: 完了 D: 未達成 E: 中止・保留						
平成25年度	今後の展開 (H25年度に何を行い、どのような状態にしたいのか)	継続支援する校区は増えており、新規に5校区取り組むことは、難しい現状にある。また自治会に働きかけてきたが、今後はコミュニティーから校区の活動に広がるよう働きかけを行う。また、まちづくりを推進している他部局と連携しながら、継続支援を行っていく。				

H25年度

**地域が主体的に取り組む
健康のまちづくり事業の推進に向けた支援**

平成25年7月6日(土)

健康部 健康増進課



内 容

1 健康のまちづくり事業とは

- (1) 目的
- (2) 活動内容
- (3) 校区の活動状況

2 今後の展開

- (1) 課題
- (2) 今後の方向性



1 健康のまちづくり事業 とは

(1)目的

日ごろの生活習慣を見直し、自分の健康づくりはもちろん、校区に住むみなさんとともに地域に根ざした健康づくりの輪を広めていくことを目的とした事業です。



3

これから、元気でいきいきと毎日を
過ごせるよう

自分自身でできること
地域ぐるみでできること

みんなで考え、
実践していきましょう！



(2)活動内容

 1年目の校区では活動について検討

 2年目の校区ではウォーキングマップを作成、ウォーキングイベントを実施

 スキルアップ研修の実施



5



これまでの参加校区

校区名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
花田	→							
牛川	→							
向山					→			
大清水					→			
旭					→			
鷹丘						→		
高豊						→		
八町						→		
磯辺							→	
芦原							→	
福岡							→	
二川								→

6

(3) 校区の活動状況

○住民説明

校区の概要説明、健康のまちづくり事業の説明

二川地区の医療費

※40~74歳国民健康保険分

なんと!!


平成23年9月分の生活習慣病
(高血圧・脂質異常症・糖尿病)
の総医療費

ひと月で・・・9700万円!

第5位(前年8位)




ヘルスポランティア養成講座の内容(例) (全4回)

テーマ	学習内容
メタボリック シンドローム解消法!	豊橋市(〇〇校区)の健康情報 メタボリックシンドロームについて
食生活を見直そう みんなで食べよう ヘルシーメニュー♪	食を通じた健康づくりを考える ヘルシーメニューの調理実習 
ウォーキングの ポイント	健康の道を利用したウォーキング方 法について
地域のつながりで 元気なまちに!	健康づくり活動に向けてのグループ ワーク

活動紹介 その1

団体名	あさひ健友会（旭校区）		実施回数 参加人数
活動内容	H21	ヘルスポランティア養成講座からあさひ健友会を立ち上げる	9回 41人
	H22	ウォーキングマップを作成、ウォークラリー、健康に関する講演会、調理実習等を開催	19回 197人
	H23	ウォークラリー、健康に関する講演会、調理実習等を開催	5回 95人
	H24	H23年度と同様	5回 104人



あさひ健友会の活動



調理実習の様子

食生活改善推進員を活用し実施
回覧板で参加者を募集！

ウォーキングの様子

校区在住の方から地元の
歴史を聞きながら楽しく
ウォーキング！



10

活動紹介 その2

団体名	清掃指導員（磯辺校区）		参加人数
活動内容	H23	組織づくりとして、既存の清掃指導員が健康づくり活動を合わせて実施。ウォーキングイベント実施のため、マップ作成の準備	6回 28人
	H24	健康情報を取り入れた磯辺ウォーキングマップを作成。ウォーキングイベントを実施	6回 109人



11

磯辺校区の活動



ウォーキングイベントの様子



活動紹介 その3

団体名		二川校区健康づくりサポーター (二川校区)	参加人数
活動内容	H24	ヘルスボランティア養成講座から、二川校区健康づくりサポーターを立ち上げる。ウォーキングやハイキングを実施	20回 68人



13

二川校区健康づくりサポーターの活動



ヘルスボランティア養成講座の様子！

ウォーキングの様子！



14

スキルアップ研修

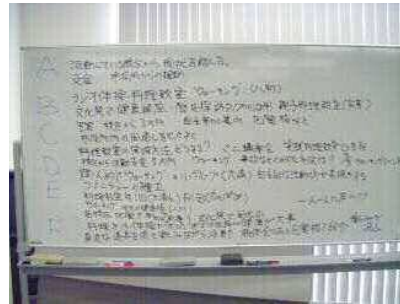
9校区と3団体の代表36名参加

○豊橋市健康情報の提供

○運動・栄養についてのワンポイントアドバイス

○交流会 グループワーク

「活動状況の説明」「困っていること」



今後の展開

(1)課題

新規校区の取り組みが少ない

健康のまちづくり事業の継続が難しい(資金面など)

⇒目標の見直しが必要

(2)今後の方向性

○募集方法の検討⇒地域のコミュニティ活動からの取り組みも入れる。

○豊橋いきいき健康マップを作成・活用することで活動の充実・拡大

○まちづくりを推進している他部局との連携

○主体的な活動へ向けての支援

○スキルアップ研修の充実

平成25年度の取り組み

(1)新規校区の拡大

二川南校区・大崎校区・野依校区で実施

○地域のコミュニティーグループから健康のまちづくり事業をすすめる。

○豊橋いきいき健康マップを作成したグループ等に健康のまちづくり事業に拡大していく。

(2)継続支援に向けて

○市民協働推進課や生涯学習課と連携して支援していく。

○地域が主体的に活動できるように、人材の育成を行う。

○スキルアップ研修の内容の充実

○継続校区への活動物品の援助

17

ご意見を聞かせてください



**豊橋市
全体が健康のま
ちになることを
目指します！**

健康とよはしマスコットキャラクター
けんとかん

18

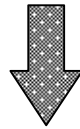
これからの健康づくり 豊橋市を健康なまちに



豊橋市民の健康状況は？

- ① 平成23年度の豊橋市の高齢化率は20.1%（二川：21.5%）。
今後も高齢化は進んでいくと予想されます。
- ② 特定健康診査受診率は30.2%（二川：29.7%）でした。
（健診対象者：豊橋市国民健康保険加入者 平成21年度）
健診受診者の方の結果をみると、メタボリックシンドロームの該当者と
予備軍あわせて25.8%（二川：25.5% ※22地区中8番です！）。
- ③ 豊橋市の国民健康保険加入者の一人あたりの生活習慣病の医療費
（平成22年度）は24,607円（二川：25,831円 22地区中17位）
でした。

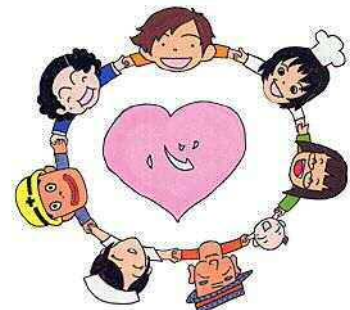
二川校区の皆さんは・・・



- ★ 他の地区と比較すると、健診受診率や健診結果は平均である。
しかし、健診を受ける人は健康に関心が高い人が多いのが一般的です。
受診していない方が約7割います。この方たちの健康が特に心配です。

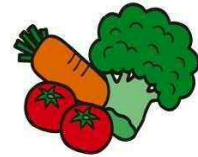
今、地域ぐるみで健康づくりが必要な理由

生き生きと充実した毎日を過ごすためには、
自分の健康は自分で守ることが重要です。
市民の方一人ひとりが生涯にわたって健康の
維持・増進を図っていただくためには、健康
づくりにつながる活動を個人や家族だけでは
なく、地域ぐるみで考え、実行していくこと
が効果的と言われています。運動ができる機会や、健康づくりのための講習会
が身近にあるほど、健康づくり活動が根付きやすいです。



～地域ぐるみでできることヒント～

- ① 校区の特徴を知る
- ② 校区にある既存の団体等を知り、協力して行う
- ③ 校区の特徴をふまえた健康づくりを行う
- ④ 近所の人を誘い合い、みんなで健康づくりに取り組む
- ⑤ 健康づくりの活動を校区のみなさんへ周知・報告する
- ⑥ 活動を継続して根付かせることが大切



～健康のまちづくり活動イメージ（例）～

- ① 校区の特徴を知る
↓
- ② 歩きたいが、行動に移せない人が多いことがわかった
↓
- ③ みんながウォーキングできる、コースを整備しよう
↓
- ④ 自治会だけではなく、校区にある既存の団体（例：老人クラブ等）に協力してもらおう
↓
- ⑤ さらに、一緒にウォーキングコースを考える、意欲ある校区市民も参加してもらいたい
↓
- ⑥ 「ヘルスボランティア養成講座実施」
健康づくりに関するノウハウを学ぶ（別紙参照）
↓
- ⑦ 皆で意見を出し合い、ウォーキングマップ作成★
↓
- ⑧ 市民館や小学校、市役所や駅前などに磯辺校区のウォーキングマップ設置、配布
↓
- ⑨ 校区市民みんなでコースを歩いてみよう（イベントの実施）
↓
- ⑩ ウォーキングしたい人や近所の人を誘ってウォーキングを継続する
↓
- ⑪ ウォーキングを通じた健康づくりができる！！

